



校長 細内 信孝

コミュニティ・ビジネスの提唱者。

全国的なコミュニティ・ビジネスの啓発・普及活動で日本各地を飛び回り、1994年よりのコミュニティ・ビジネスの講演・ワークショップ、助言等の実施回数は、3,000回をこえる。また、コミュニティ・ビジネス起業のワークショップ、事業企画書づくりのアドバイスやコンテストの審査件数は8,000件をこえる。

総務省地域情報化アドバイザー歴も10年を超え、地域情報のICT化にも詳しい。

Community Business Institute

コミュニティビジネス総合研究所

コミュニティ・ビジネスは、住民自らが地域コミュニティを元気にすることに日々の暮らしの目標をおき、社会的排除に会う人を出さない（ソーシャルインクルージョン＝社会的包摂）。かつ地域固有の資源を積極的に活用し、コミュニティ内外の問題解決と生活の質の向上を目指しながら、そこに住む人々が生き活きと快適に働き、暮らすことに主眼をおいた新しいタイプの21世紀のビジネスです。その目的とするところは、地域コミュニティで活かされない地域資源（人、モノ、金、情報など）を極力出さない。いわば共生、分ち合いの考え方といえるでしょう。

お問い合わせ先

コミュニティビジネス総合研究所

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-23-6-3F

電話：03-3350-8651

電子メール：hosouchi188@gmail.com

Web: <http://www.188school.org>



COMMUNITY
BUSINESS
INSTITUTE



町の学校

コミュニティを長年見つめ続けてきたコミュニティビジネス総合研究所が主宰する“町の学校”は、自分たちの暮らす町や村の将来を本気で考える人々のための学校です。



地域のお悩み いっしょに解決します！

町の学校メンバーがと 地域の底上げをお手伝い

『町の学校』より細内校長が最初に訪問し、町や村の全体像を把握した後、町の学校の専門家と細内校長が訪問し、共に地域活性化、各種仕事おこし、高齢者の買い物・生活支援など、地域課題に取り組むためのスキームづくりを皆さんと一緒に考え取り組んで参ります。

町の学校とは・・・

この学校は、校舎も時間割もありません。
自分たちの町や村の将来を真剣に考える人
たちのための学校です。

2011年の3月11日以降、多くの人々は、
まだ日々の暮らしにおいて苦しみを感
じているように思います。自分の生活・
コミュニティに軸を置き、身の丈にあ
った仕事起こし、生活の再設計がさら
に必要となってくるのではないでしょ
うか。町の学校は、江戸時代に岡山
の池田藩がつくった閑谷学校のように、
信州に800以上もあったと言われる
寺子屋のように、庶民のための日々
生きる知恵を学ぶ場所として、多く
のみなさまとともに育てていきたい
と思います。

■ 未来に向けた暮らしやすいまちづくり

- ・町会・自治会の元気づくり講座
- ・買い物・生活支援コーディネーター講座
- ・限界集落のコンパクト・コミュニティ
- ・CBによるコンパクトシティ・まちづくり
- ・コミュニティのためのICT活用力養成講座

■ 疲弊した地域産業の元気づくり

- ・知識創造型産業の創生
- ・CBによる元気な農村づくり
- ・生活複合化としての商店街活性講座
- ・CBによる生活観光入門講座
- ・日本の温泉地の再活性化・再生



町の学校で人気のテーマ

■ 仕事おこし、働く場づくり、地域の人材活用

- ・地域資源の見える化、CB図鑑、CBメッセ
- ・地域デビュー応援講座
- ・女性達のコミュニティ・リーダー養成講座

- ・中学生・高校生のためのコミュニティ教育
- ・こどものためのコミュニティ教育

■ 多様な市民・組織がかかわるコミュニティの創出

- ・ソーシャル・ビジネス入門講座
- ・企業のコミュニティリーダー養成講座
- ・NPO・CBのためのファンドレイジング
- ・自治体のICT戦略とSNS
- ・総合型地域スポーツクラブとまちづくり
- ・環境共生のコミュニティ・ビジネス・メソッド
- ・コミュニティ図書館のまちづくり